



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年11月4日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東
 コード番号 4558 URL <http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米津 秀二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 飯田 亨 TEL 0569-29-0202
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,818	6.8	18	45.9	28	19.4	0	△93.2
2022年3月期第2四半期	2,639	△11.8	12	△90.0	23	△82.4	10	△82.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	0.07	—
2022年3月期第2四半期	1.03	1.03

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	5,295	2,592	49.0	243.76
2022年3月期	5,339	2,618	49.0	246.38

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,592百万円 2022年3月期 2,618百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
2023年3月期	—	2.50	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,553	3.6	100	56.2	117	39.2	43	30.3	4.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	11,660,734株	2022年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,025,722株	2022年3月期	1,032,687株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	10,630,879株	2022年3月期2Q	10,390,612株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策が進み、景気は穏やかな回復基調が続いているものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源価格の高騰に加え、円安の進行による物価上昇等が国内経済に与える影響が懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、当社は企業理念として掲げる「健康づくり、幸福づくり、人づくり」の具現化に向けて、お客さまの生活を支えるための商品や情報・サービスを多角的・多面的に拡充するトータルライフ・ケアを推進してまいりました。また、当社ならではの「ふれあい業」による人と人との絆によるヒューマンネットワークを広げ、お客さまや市場に継続的に評価をいただくことに努め、収益力と企業体質の強化を図ってまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間における売上高は2,818百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益は18百万円(前年同期比45.9%増)、経常利益は28百万円(前年同期比19.4%増)、四半期純利益は法人税等調整額(損)6百万円を計上したため0百万円(前年同期比93.2%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業(小売部門・卸売部門)

小売部門においては、事業基盤の強化として配置薬などの委託販売を推進することにより安定した収益基盤の確立に取り組みました。また成長戦略として、顧客営業権(のれん)を購入し、6月より静岡県に藤枝営業所、沼津営業所、伊東営業所、浜松西営業所の新規出店を致しました。更に新商品「乳酸菌クイックシールドゼリー」の発売や健康関連商品の販売などを積極的に行いました。

卸売部門においては、継続して感染予防の意識が高まっており、高機能マスクや夏季マスクなどの継続的な販売を行いました。また飲料や食品における他企業のOEM(プライベートブランド)の販売もあり増収となりました。今後についても市場動向を見ながら新しい商品の開発や販売を進め、社会環境の変化に即応するよう努めてまいります。

その結果、売上高は2,468百万円(前年同期比7.2%増)、セグメント利益9百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

②売水事業部門

昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長性、更に防災対策としての水の備蓄や熱中症対策としての水の必要性等により、早期に中核事業の1つとして確立することを目指しております。「事業基盤の強化」として抗菌カートリッジやサーバーメンテナンスにより安全性の強化を図りました。除菌用アルコール製品の製造・販売についても、継続的な販売を行ってまいりました。

その結果、売上高は365百万円(前年同期比0.4%減)、セグメント利益9百万円(前年同期比170.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は2,978百万円となり、前事業年度末に比べ178百万円減少いたしました。これは主に委託商品の増加23百万円、現金及び預金の減少223百万円によるものであります。固定資産は2,316百万円となり、前事業年度末に比べ134百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産の増加149百万円によるものであります。

この結果、総資産は5,295百万円となり、前事業年度末に比べ43百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は2,091百万円となり、前事業年度末に比べ72百万円増加いたしました。これは主に短期借入金の増加60百万円によるものであります。固定負債は611百万円となり、前事業年度末に比べ90百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少83百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、2,703百万円となり、前事業年度末に比べ17百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は2,592百万円となり、前事業年度末に比べ26百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少26百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は49.0%(前事業年度末は49.0%)、1株当たり純資産額は243.76円(前事業年度末は246.38円)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日付けにて発表しました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「2022年3月期決算短信」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,443,246	1,220,052
受取手形、売掛金及び契約資産	472,098	482,985
電子記録債権	32,437	37,131
商品及び製品	572,463	557,504
委託商品	473,927	497,116
仕掛品	83	77
原材料及び貯蔵品	43,744	44,666
その他	125,049	145,483
貸倒引当金	△5,853	△6,105
流動資産合計	3,157,197	2,978,912
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	467,937	460,277
土地	1,198,806	1,198,806
その他(純額)	29,020	25,724
有形固定資産合計	1,695,764	1,684,809
無形固定資産		
投資その他の資産	81,246	230,908
前払年金費用	103,622	105,572
その他	306,063	299,558
貸倒引当金	△4,609	△4,358
投資その他の資産合計	405,076	400,772
固定資産合計	2,182,088	2,316,490
資産合計	5,339,285	5,295,402
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	256,851	285,342
電子記録債務	123,324	162,831
短期借入金	910,000	970,000
1年内返済予定の長期借入金	183,346	166,656
未払法人税等	60,302	34,829
賞与引当金	132,920	127,710
その他	352,255	344,366
流動負債合計	2,019,000	2,091,736
固定負債		
長期借入金	301,729	218,401
退職給付引当金	151,714	149,628
株式給付引当金	32,269	34,470
資産除去債務	2,488	2,517
長期未払金	178,120	178,120
その他	35,376	28,189
固定負債合計	701,698	611,327
負債合計	2,720,698	2,703,064

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	529,060	528,845
利益剰余金	1,708,015	1,681,622
自己株式	△305,923	△303,856
株主資本合計	2,612,164	2,587,624
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,422	4,714
評価・換算差額等合計	6,422	4,714
純資産合計	2,618,587	2,592,338
負債純資産合計	5,339,285	5,295,402

(2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2,639,144	2,818,622
売上原価	812,182	964,770
売上総利益	1,826,961	1,853,851
販売費及び一般管理費	1,814,010	1,834,954
営業利益	12,951	18,897
営業外収益		
受取利息	9	6
受取配当金	486	590
受取家賃	7,760	8,233
その他	5,262	2,682
営業外収益合計	13,518	11,513
営業外費用		
支払利息	2,335	2,316
譲渡制限付株式関連費用	600	—
その他	0	0
営業外費用合計	2,935	2,316
経常利益	23,534	28,093
特別利益		
保険解約返戻金	11,516	—
特別利益合計	11,516	—
税引前四半期純利益	35,050	28,093
法人税、住民税及び事業税	22,495	21,063
法人税等調整額	1,872	6,306
法人税等合計	24,367	27,369
四半期純利益	10,683	723

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	35,050	28,093
減価償却費	41,013	26,920
のれん償却額	1,592	15,275
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△68	0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,260	△2,085
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	2,008	2,201
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△38,750	△5,210
受取利息及び受取配当金	△495	△597
支払利息	2,335	2,316
売上債権の増減額 (△は増加)	△125,423	△15,581
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△166,810	△9,145
仕入債務の増減額 (△は減少)	117,084	67,997
未払費用の増減額 (△は減少)	2,709	570
その他	48,289	△28,886
小計	△82,723	81,869
利息及び配当金の受取額	482	597
利息の支払額	△2,335	△2,316
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△106,416	△46,036
営業活動によるキャッシュ・フロー	△190,993	34,114
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,001	△17,901
定期預金の払戻による収入	13,200	8,400
有形固定資産の取得による支出	△4,421	△9,020
無形固定資産の取得による支出	△34,994	△171,881
保険積立金の積立による支出	△557	△557
その他	1,184	△1,202
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,590	△192,163
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	240,000	60,000
長期借入金の返済による支出	△107,608	△100,018
リース債務の返済による支出	△16,137	△7,959
自己株式の取得による支出	△8	△16
自己株式の売却による収入	16,456	387
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	148,720	—
配当金の支払額	△46,347	△27,039
財務活動によるキャッシュ・フロー	235,075	△74,646
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,508	△232,695
現金及び現金同等物の期首残高	1,242,485	1,286,092
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,240,977	1,053,397

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	家庭医薬品等販売事業		売水事業 部門	計				
	小売部門	卸売部門						
売上高								
小売販売及び 卸売販売	1,469,411	366,023	335,259	2,170,693	1,487	2,172,180	—	2,172,180
配置販売	466,963	—	—	466,963	—	466,963	—	466,963
顧客との契約 から生じる収益	1,936,374	366,023	335,259	2,637,657	1,487	2,639,144	—	2,639,144
外部顧客への 売上高	1,936,374	366,023	335,259	2,637,657	1,487	2,639,144	—	2,639,144
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	31,580	31,580	—	31,580	△31,580	—
計	1,936,374	366,023	366,840	2,669,237	1,487	2,670,724	△31,580	2,639,144
セグメント利益 又は損失(△)	△1,153	10,487	3,618	12,951	—	12,951	—	12,951

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	家庭医薬品等販売事業		売水事業 部門	計				
	小売部門	卸売部門						
売上高								
小売販売及び 卸売販売	1,443,221	474,246	348,844	2,266,313	1,222	2,267,535	—	2,267,535
配置販売	551,086	—	—	551,086	—	551,086	—	551,086
顧客との契約 から生じる収益	1,994,308	474,246	348,844	2,817,399	1,222	2,818,622	—	2,818,622
外部顧客への 売上高	1,994,308	474,246	348,844	2,817,399	1,222	2,818,622	—	2,818,622
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	16,653	16,653	—	16,653	△16,653	—
計	1,994,308	474,246	365,498	2,834,053	1,222	2,835,275	△16,653	2,818,622
セグメント利益	1,414	7,700	9,782	18,897	—	18,897	—	18,897

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

家庭医薬品等販売事業の小売部門において、企業価値向上のため顧客の増加と営業エリア拡大による営業権(のれん)を譲受しました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期累計期間において169百万円であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。